

# 校長便り 怒濤 系高

県立系満高校

平成29年 4月28日 (金)  
校長 辻上 弘子  
第 2 号

## なんともまあ 素晴らしきかな 学年集会 学年団

新学期が始まり、各学年団がそれぞれのスタートを切りました。本校が自慢していることの1つに学年集会がございます。朝の限られた時間ではありますが、生徒の意識を高めるうえで、昨年度から学年集会が大変大きな役割を果たしております。9クラス360名の生徒を同じ学年の集団として、人間力も学力も、文武一道でいかに成長させていくかがテーマです。学年主任を中心に担任同士の横の連携と、学年団と進路指導部や生活指導部とのパイプをしっかりと繋いでおります。集会ではパワーポイントを使ったり、聴かせる話をしたりと随所に各主任の工夫がみられ、充実の10分間が魅力です。2・3年生は昨年度鍛えられ、とうとう鐘がなる前にはきちんと整列し、点呼、報告が出来るまでになりました。私語1つ無い静寂の体育館で、時には笑いがありながらも、真剣に、その時の話をココロで聴く彼らの姿勢は見事です。これはひとりでは為し得なかったかと思われる大きな育ちであり伸びであります。学年が1つになり、これから実施予定の球技大会や遠足、系高祭等の行事を楽しみながら、そこでまた学び、成長して欲しいものです。そのために本校職員も、健康に留意しながら、余裕を持って それこそ生徒たちと一緒に楽しみつつ、日々を重ねて参ります。どうぞご家庭での声かけ、激励も引き続きお願い致します。

## 今年の新入生歓迎球技大会もやっぱり感動ものでした

流石に3年生は強かった。なんと言っても気迫が違いました。開場のかなり前からクラスで最後の調整。西崎総合体育館が揺れるかと思うくらいの大歓声で試合が進みました。「昨年は涙が出そうだったが、今年は涙がこぼれた」とは閉会式の教頭講評。安全に かつメリハリある行動で自ら盛り上げ 目的に沿って楽しむ彼らの力を目の当たりにし、職員一同再び感心したわけです。